

小樽市
認定資格

参加費 1 万円

済生会職員用

小樽市重層的支援体制人材育成事業

済生会地域包括ケア連携士 養成研修会

済生会地域包括ケア連携士は、ソーシャルインクルージョンの推進役を担う済生会が認定する資格です。小樽市では令和 6 年度より「重層的支援体制事業」を実施し、包括的な相談支援体制の整備を進めています。本研修会は、複合化・複雑化した相談を受け止め、他機関と連携し、必要な支援につなげることができる人材を育成することを目的としています。

- ✓ 事前学習 e - ラーニング (8 月 15 日 ~ 9 月 30 日)
- ✓ WEB 研修 Zoom 研修 (10 月 15 日 (水))
 - ・地域包括ケアシステムと地域共生社会 ・地域福祉の推進とネットワークづくり
文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 中島 修 教授
 - ・本人の意思の尊重と意思決定の支援 ・成年後見制度と日常生活自立支援事業
かわさき社会福祉士事務所 川崎 裕彰 所長
- ✓ 対面研修 (1 日 目) 済生会小樽病院 (11 月 7 日 (金))
 - ・済生会の取り組みから考える連携士の可能性
社会福祉法人恩賜財団済生会 社会福祉・地域包括ケア課長 鈴木 孝尚 様
 - ・ICF 学校法人北斗文化学園 北海道福祉教育専門学校 教務部長 吉谷 敬 様
 - ・ソーシャルワーク・ケアマネジメント
一般社団法人 日本介護支援専門員協会 会長 柴口 里則 様
- ✓ 対面研修 (2 日 目) 済生会小樽病院 (11 月 8 日 (土))
 - ・済生会地域包括ケア連携士の理念と済生会が目指す地域包括ケアシステム
社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 様
 - ・グループワーク① 地域課題とその解決に向けて
 - ・地域包括ケア連携士の役割 - 課題解決に向けて - 小樽商科大学 副学長 片桐 由喜 様
 - ・グループワーク② 連携士として活動してみたいこと
- ✓ 認定対象者 医療・福祉・介護連携に関する実務経験が 3 年以上あり、基礎資格を有する方

主催 小樽市 北海道済生会

お問合せ 北海道済生会
ソーシャルインクルージョン推進室
担当：角谷 0134-32-5131 (済生会みどりの里)
kadoya@saiseikai-midori.jp

カリキュラム



e-ラーニングコンテンツ一覧 選択

必須

科 目	内 容	動画時間
済生会地域包括ケア連携士とは	済生会の歴史と理念	60分程度
	社会福祉法人に求められているもの	
	地域共生社会の実現と重層的支援体制整備事業	
	現場で求められている支援	
	連携士の養成と地域共生社会の実現に向けて	
ソーシャルインクルージョンの 理念に基づくまちづくり	宇都宮市つながりサポート女性支援事業（生理の貧困等）①	12分
	宇都宮市つながりサポート女性支援事業（生理の貧困等）②	25分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）①	8分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）②	4分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）③	5分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動（北海道）①	23分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動（北海道）②	13分
住民協働での地域生活課題 への取り組みと地域づくり	長和園の概要と地域における公益的な取り組み	9分
	住民ニーズ会議と事業展開	8分
	子ども食堂と大人食堂	10分
	高齢者カフェと子育てカフェ	11分
	事業運営と効果（地域共生社会の実現に向けて）	9分
住まい・就労・教育への支援	「住まい」における支援	60分程度
	「就労」における支援	
	「教育」における支援	

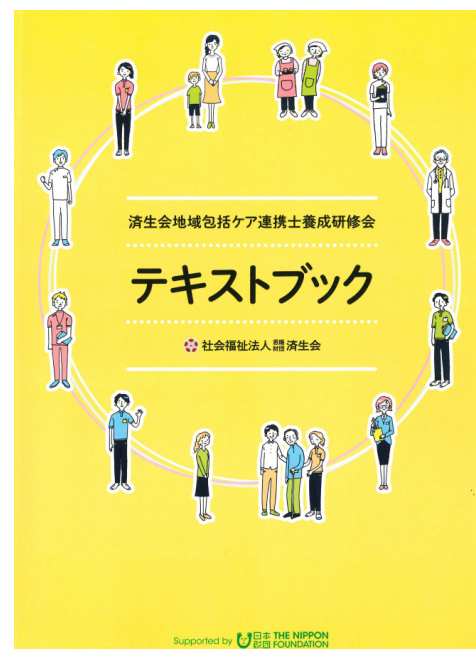
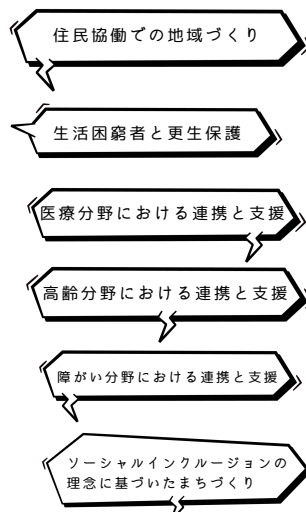
選択

科 目	内 容	動画時間
生活困窮者支援と更生保護	生活保護法と生活困窮者自立支援事業	13分
	山口圏域生活支援協議会の取り組み	14分
	山口圏域生活支援協議会による活動の成果	15分
	矯正施設退所者への支援①（概要と就労支援）	9分
	矯正施設退所者への支援②（関連施設での支援）	21分
	全国済生会刑余者等支援推進協議会の活動	4分
医療分野における連携と支援	唐津地区における地域包括ケア	12分
	医療福祉情報会議による多職種連携	14分
	入退院支援における多職種連携	16分
	入退院支援と地域の看護の質向上	10分
	済生会地域包括ケア連携士の取り組み	13分
高齢分野における連携と支援	高齢期における住まいと支援	15分
	看護小規模多機能居宅介護と科学的介護	8分
	地域における見守り体制づくり	20分
障害分野における連携と支援 （障害全般と身体障害）	障害者総合支援法のサービス利用方法①	8分
	障害者総合支援法のサービス利用方法②	10分
	重症心身障害への支援①	3分
	重症心身障害への支援②	12分
	視覚障害者への支援①	3分
	視覚障害者への支援②	12分
	聴覚障害者への支援①	3分
	聴覚障害者への支援②	24分
	医療的ケア児・者を地域で支えるネットワーク	13分
児童分野における連携と支援 （社会的養護）	乳児院における支援①	6分
	乳児院における支援②	12分
	児童養護施設における支援①	10分
	児童養護施設における支援②	13分
	里親への支援①	6分
	里親への支援②	17分
	児童家庭支援センターにおける支援	16分
児童分野における連携と支援 （障害特性に応じた支援）	重症心身障害児への支援①	8分
	重症心身障害児への支援②	26分
	医療的ケア児への支援	10分
	障害児通所支援（放課後等デイサービス）①	13分
	障害児通所支援（放課後等デイサービス）②	14分
	障害児通所支援（保育所等訪問支援）①	4分
	障害児通所支援（保育所等訪問支援）②	13分

科 目	内 容	動画時間
障害分野における連携と支援 （知的障害）	知的障害者への支援①	15分
	知的障害者への支援②	10分
	知的障害者への住まいの支援（グループホーム）	3分
	知的障害者への就労支援（就労移行支援）①	5分
	知的障害者への就労支援（就労移行支援）②	21分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）①	4分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）②	7分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）③	10分
障害分野における連携と支援 （精神障害）	精神障害者の理解	9分
	ひきこもりと8050問題	4分
	精神疾患の理解①（概要と認知症）	9分
	精神疾患の理解②（統合失調症）	7分
	精神疾患の理解③（うつ病）	10分
	当事者と家族の悩み	6分
	精神分野も含めた地域包括ケアと措置入院	15分
	精神分野における多職種連携	14分
障害分野における連携と支援 （発達障害）	発達障害の基本①	17分
	発達障害の基本②（ペアレントメンター）	13分
	児童発達支援センターにおける支援①	11分
	児童発達支援センターにおける支援②	35分
	発達障害者支援センターにおける支援①	4分
	発達障害者支援センターにおける支援②	10分

* eラーニングの内容は一部変更されることがあります。

テキストブック



現場の実践例や学習等のポイントが掲載されていて、支援方法の理解を深めることができます。

小樽市
認定資格
参加費無料

小樽市重層的支援体制人材育成事業

済生会地域包括ケア連携士 養成研修会

済生会地域包括ケア連携士は、ソーシャルインクルージョンの推進役を担う済生会が認定する資格です。小樽市では令和6年度より「重層的支援体制事業」を実施し、包括的な相談支援体制の整備を進めています。本研修会は、複合化・複雑化した相談を受け止め、他機関と連携し、必要な支援につなげることができる人材を育成することを目的としています。

- ✓ 事前学習 e-ラーニング (8月15日～9月30日)
- ✓ WEB研修 Zoom研修 (10月15日(水))
 - ・地域包括ケアシステムと地域共生社会
 - ・地域福祉の推進とネットワークづくり
文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 中島 修 教授
 - ・本人の意思の尊重と意思決定の支援
 - ・成年後見制度と日常生活自立支援事業
かわさき社会福祉士事務所 川崎 裕彰 所長
- ✓ 対面研修 (1日目) 済生会小樽病院 (11月7日(金))
 - ・済生会の取り組みから考える連携士の可能性
社会福祉法人恩賜財団済生会 社会福祉・地域包括ケア課長 鈴木 孝尚 様
 - ・ICF 学校法人北斗文化学園 北海道福祉教育専門学校 教務部長 吉谷 敬 様
 - ・ソーシャルワーク・ケアマネジメント
一般社団法人 日本介護支援専門員協会 会長 柴口 里則 様
- ✓ 対面研修 (2日目) 済生会小樽病院 (11月8日(土))
 - ・済生会地域包括ケア連携士の理念と済生会が目指す地域包括ケアシステム
社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 様
 - ・グループワーク① 地域課題とその解決に向けて
 - ・地域包括ケア連携士の役割 - 課題解決に向けて - 小樽商科大学 副学長 片桐 由喜 様
 - ・グループワーク② 連携士として活動してみたいこと
- ✓ 認定対象者 医療・福祉・介護連携に関する実務経験が3年以上あり、基礎資格を有する方

主催 小樽市 北海道済生会

お問合せ 北海道済生会
ソーシャルインクルージョン推進室
担当：角谷 0134-32-5131 (済生会みどりの里)
kadoya@saiseikai-midori.jp

カリキュラム



e-ラーニングコンテンツ一覧 選択

必須

科 目	内 容	動画時間
済生会地域包括ケア連携士とは	済生会の歴史と理念	60分程度
	社会福祉法人に求められているもの	
	地域共生社会の実現と重層的支援体制整備事業	
	現場で求められている支援	
	連携士の養成と地域共生社会の実現に向けて	
ソーシャルインクルージョンの 理念に基づくまちづくり	宇都宮市つながりサポート女性支援事業（生理の貧困等）①	12分
	宇都宮市つながりサポート女性支援事業（生理の貧困等）②	25分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）①	8分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）②	4分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）③	5分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動（北海道）①	23分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動（北海道）②	13分
住民協働での地域生活課題 への取り組みと地域づくり	長和園の概要と地域における公益的な取り組み	9分
	住民ニーズ会議と事業展開	8分
	子ども食堂と大人食堂	10分
	高齢者カフェと子育てカフェ	11分
	事業運営と効果（地域共生社会の実現に向けて）	9分
住まい・就労・教育への支援	「住まい」における支援	60分程度
	「就労」における支援	
	「教育」における支援	

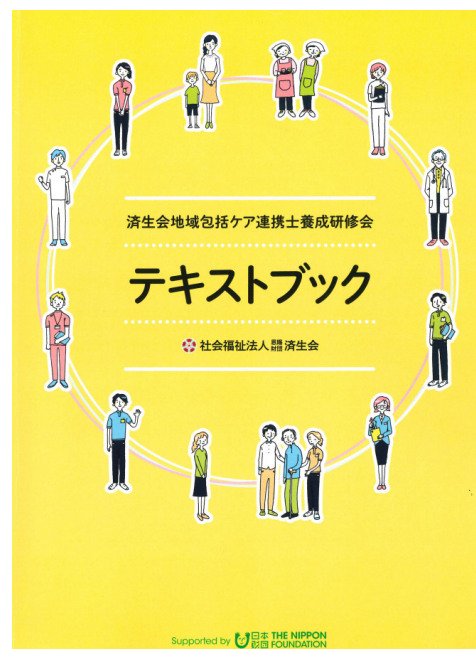
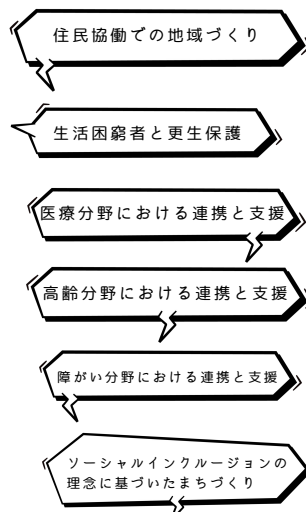
選択

科 目	内 容	動画時間
生活困窮者支援と更生保護	生活保護法と生活困窮者自立支援事業	13分
	山口圏域生活支援協議会の取り組み	14分
	山口圏域生活支援協議会による活動の成果	15分
	矯正施設退所者への支援①（概要と就労支援）	9分
	矯正施設退所者への支援②（関連施設での支援）	21分
	全国済生会刑余者等支援推進協議会の活動	4分
医療分野における連携と支援	唐津地区における地域包括ケア	12分
	医療福祉情報会議による多職種連携	14分
	入退院支援における多職種連携	16分
	入退院支援と地域の看護の質向上	10分
高齢分野における連携と支援	済生会地域包括ケア連携士の取り組み	13分
	高齢期における住まいと支援	15分
	看護小規模多機能居宅介護と科学的介護	8分
	地域における見守り体制づくり	20分
障害分野における連携と支援 （障害全般と身体障害）	障害者総合支援法のサービス利用方法①	8分
	障害者総合支援法のサービス利用方法②	10分
	重症心身障害への支援①	3分
	重症心身障害への支援②	12分
	視覚障害者への支援①	3分
	視覚障害者への支援②	12分
	聴覚障害者への支援①	3分
	聴覚障害者への支援②	24分
	医療的ケア児・者を地域で支えるネットワーク	13分
児童分野における連携と支援 （社会的養護）	乳児院における支援①	6分
	乳児院における支援②	12分
	児童養護施設における支援①	10分
	児童養護施設における支援②	13分
	里親への支援①	6分
	里親への支援②	17分
	児童家庭支援センターにおける支援	16分
児童分野における連携と支援 （障害特性に応じた支援）	重症心身障害児への支援①	8分
	重症心身障害児への支援②	26分
	医療的ケア児への支援	10分
	障害児通所支援（放課後等デイサービス）①	13分
	障害児通所支援（放課後等デイサービス）②	14分
	障害児通所支援（保育所等訪問支援）①	4分
	障害児通所支援（保育所等訪問支援）②	13分

科 目	内 容	動画時間
障害分野における連携と支援 （知的障害）	知的障害者への支援①	15分
	知的障害者への支援②	10分
	知的障害者への住まいの支援（グループホーム）	3分
	知的障害者への就労支援（就労移行支援）①	5分
	知的障害者への就労支援（就労移行支援）②	21分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）①	4分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）②	7分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）③	10分
障害分野における連携と支援 （精神障害）	精神障害者の理解	9分
	ひきこもりと8050問題	4分
	精神疾患の理解①（概要と認知症）	9分
	精神疾患の理解②（統合失調症）	7分
	精神疾患の理解③（うつ病）	10分
	当事者と家族の悩み	6分
	精神分野も含めた地域包括ケアと措置入院	15分
	精神分野における多職種連携	14分
障害分野における連携と支援 （発達障害）	発達障害の基本①	17分
	発達障害の基本②（ペアレントメンター）	13分
	児童発達支援センターにおける支援①	11分
	児童発達支援センターにおける支援②	35分
	発達障害者支援センターにおける支援①	4分
	発達障害者支援センターにおける支援②	10分

* eラーニングの内容は一部変更されることがあります。

テキストブック



現場の実践例や学習等のポイントが掲載されていて、支援方法の理解を深めることができます。